

2015年12月7日

ICDAホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2016年3月期 第2四半期決算説明会



2016年3月期 第2四半期決算概要

- ・新車販売台数 2,120台（前年同期比19.0%減）
- ・中古車販売台数 4,387台（前年同期比 7.0%増）
- ・中古車販売は地域競合店との差別化が進み販売台数増加
- ・アウトバウンド型（発信型）の自社コールセンターを開設

2016年3月期計画

- ・既存の商品ラインナップをもとに、販売を強化
- ・用品拡販を強化し、1台当たりの収益を拡大

自動車販売関連事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- 新車販売（ホンダ正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）



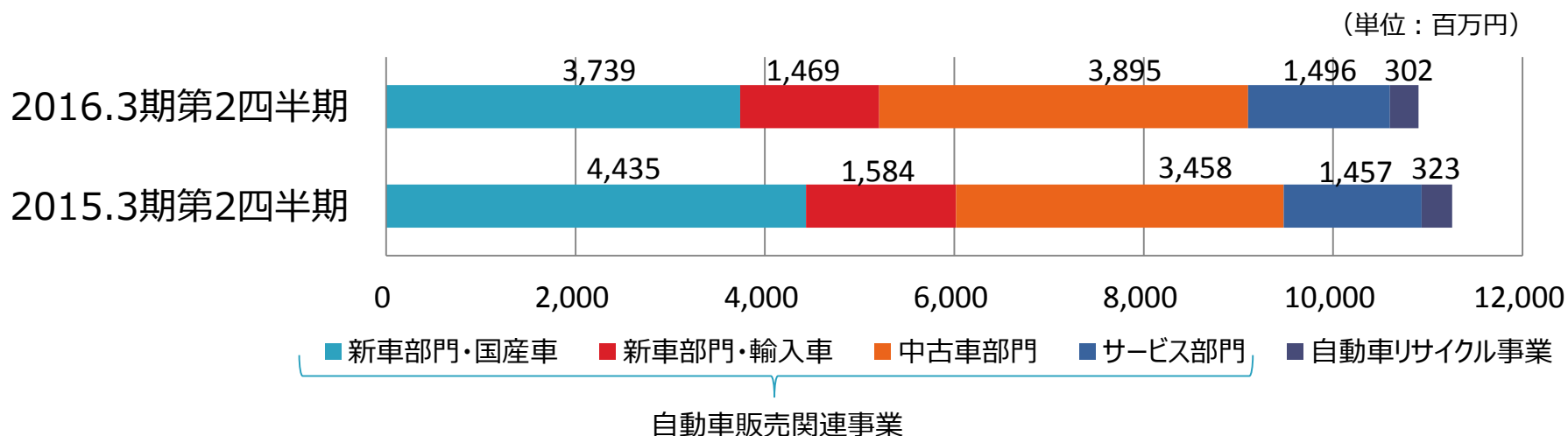
(株)オートモール

- 新車販売
ポルシェ（正規ディーラー）
Audi（正規ディーラー）
VW（正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）

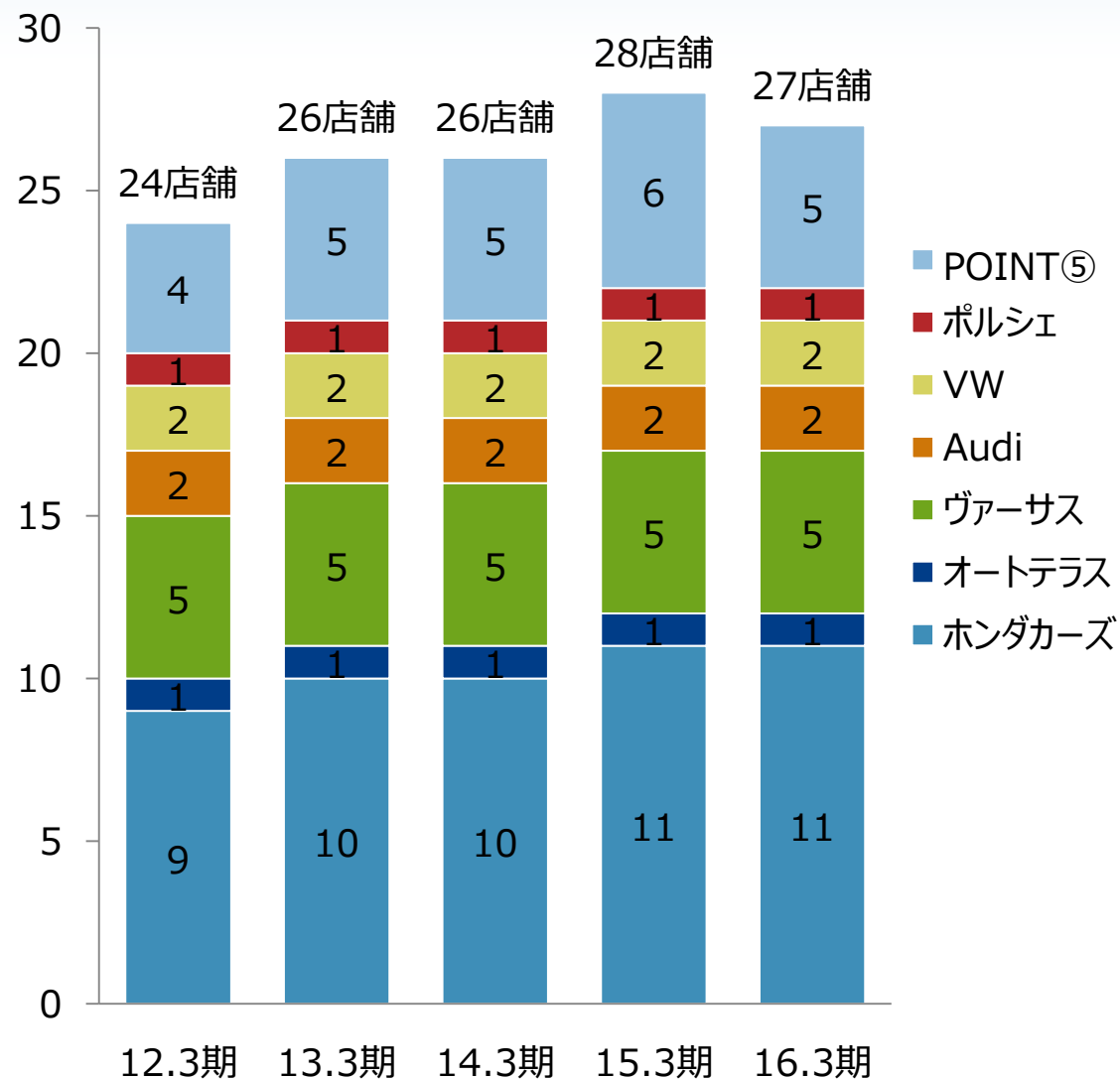
自動車リサイクル事業

(株)マーク・コーポレーション

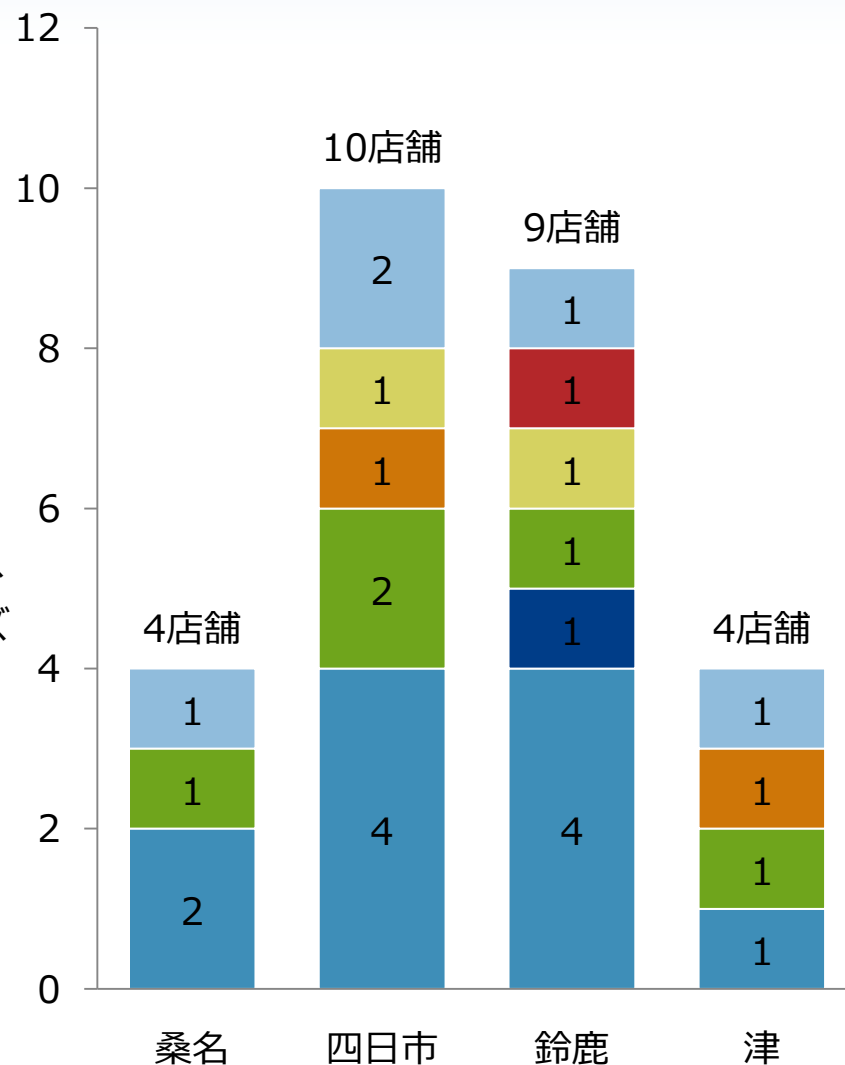
- 鈴鹿オートリサイクルセンター



出店状況の推移 (5年間)



16.3期のエリア別出店状況



【長期的な営業環境】

- ・自動車の保有台数のゆるやかな減少
- ・自動車の乗替えサイクルの長期化
- ・環境対応車の発表により、燃費競争が加速

【上期の営業環境】

- ・エコカー減税の見直しと軽自動車税の増税による買い控え
- ・タカタ製エアバックのリコールの影響
- ・VWグループのディーゼル車排気ガス不正問題
- ・資源相場の下落の影響が継続

2016年3月期 第2四半期決算概要

損益計算書

(単位：百万円)

	2015.3期 第2四半期	2016.3期 第2四半期	前期比 (%)	2016.3期 通期計画	前期比 (%)
売上高	11,263	10,911	96.8	24,277	99.0
売上原価	9,217	8,805	95.5	19,691	98.0
売上総利益	2,045	2,105	102.9	4,585	103.2
販売管理費	1,895	1,818	95.9	3,762	97.1
営業利益	150	286	190.6	823	145.3
営業外損益	5	△17	—	△62	—
経常利益	155	269	173.5	760	142.2
親会社株式に帰属する 四半期純利益	90	169	187.7	496	172.2

セグメント構成

(単位：百万円)

		2015.3期 第2四半期	2016.3期 第2四半期	前期比 (%)	構成比 (%)
自動車販売関連事業	新車部門（国産車）	4,435	3,739	84.3	34.3
	新車部門（輸入車）	1,584	1,469	92.7	13.4
	中古車部門	3,458	3,895	112.6	35.7
	サービス部門	1,457	1,496	102.6	13.7
	合 計	10,940	10,608	96.9	97.2
自動車リサイクル事業		323	302	93.4	2.8
合 計		11,263	10,911	96.8	100.0

貸借対照表

(単位：百万円)

項 目			2015.3期	2016.3期 第 2 四半期	増減
資 産 の 部	流 動 資 産	現金及び預金	1,507	672	-835
		受取手形及び売掛金	315	267	-48
		商品及び製品	2,412	2,598	+186
		その他	294	295	+1
	流動資産合計		4,528	3,832	-696
	固 定 資 産	有形固定資産	9,853	9,923	+70
		無形固定資産	67	65	-2
		投資その他資産	814	812	-2
	固定資産合計		10,735	10,802	+67
資産合計		15,263	14,634	-629	

項 目			2015.3期	2016.3期 第2四半期	増減
負債・純資産の部	流動負債	買掛金	1,999	1,369	-630
		短期借入金	4,125	4,534	+409
		未払法人税等	167	103	-64
		その他	1,302	1,308	+6
		流動負債合計	7,594	7,315	-279
	固定負債	長期借入金	2,780	2,342	-438
		役員退職慰労引当金	258	265	+7
		退職給付に係る負債	527	549	+22
		その他	52	53	+1
		固定負債合計	3,618	3,210	-408
	負債合計		11,213	10,526	-687
	純資産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,572	1,637	+65
		株主資本合計	3,882	3,947	+65
		その他の包括利益累計額合計	43	38	-5
		非支配株主持分	124	122	-2
	純資産合計		4,050	4,108	+58
	負債純資産合計		15,263	14,634	-629

・買掛債務の支払いにより、現金及び預金が減少

2016年3月期計画

セグメント			下期の営業環境
自動車 販売関連事業	新車部門	国産車	軽自動車増税の影響が継続
		輸入車	VWの不正問題による影響が継続
	中古車部門		中古車市況は持ち直しつつある
	サービス部門		車検対象数が前年同時期の数を下回る
自動車リサイクル事業			資源相場下落の影響が継続

損益計算書

(単位：百万円)

	2015.3期実績	2016.3期計画	前期比 (%)
売上高	24,522	24,277	99.0
売上原価	20,081	19,691	98.0
売上総利益	4,440	4,585	103.2
販売管理費	3,873	3,762	97.1
営業利益	566	823	145.3
営業外損益	△31	△63	－
経常利益	535	760	142.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	288	496	172.2

セグメント構成

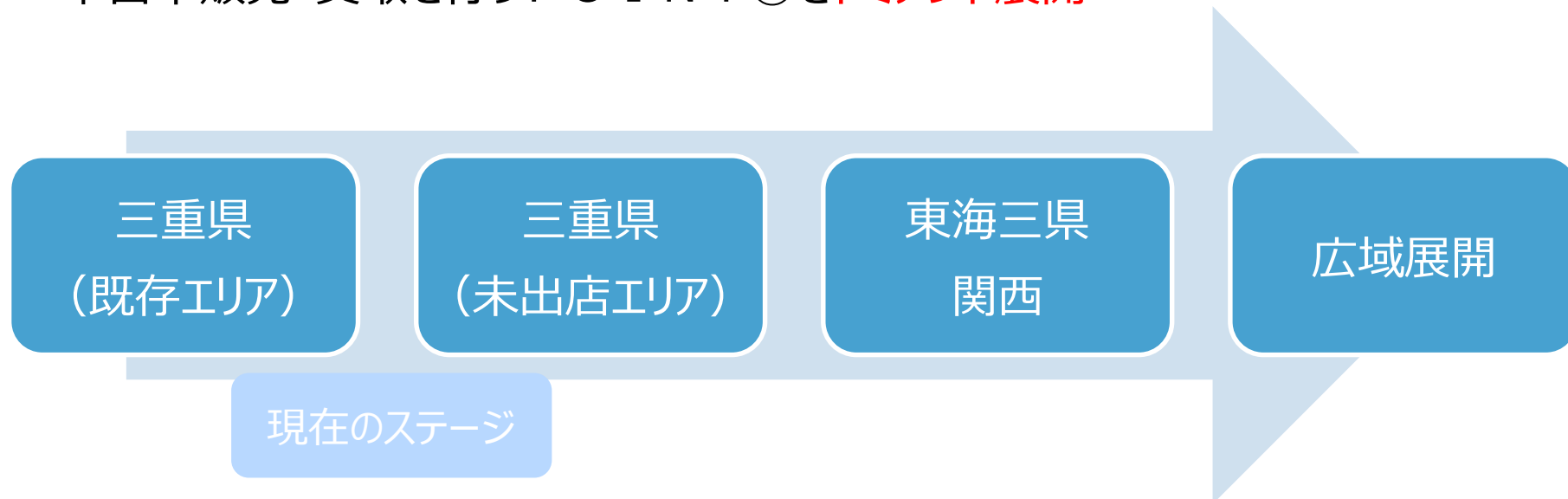
(単位：百万円)

		2015.3期実績	2016.3期計画	前期比 (%)	構成比 (%)
自動車販売関連事業	新車部門（国産車）	9,258	9,433	101.9	38.9
	新車部門（輸入車）	3,719	3,701	99.5	15.2
	中古車部門	7,841	7,579	96.7	31.2
	サービス部門	3,017	2,834	93.9	11.7
	合 計	23,850	23,560	98.8	97.0
自動車リサイクル事業		671	717	106.9	3.0
合 計		24,522	24,277	99.0	100.0

セグメント			施策
自動車販売 関連事業	新車部門	国産車	D M・チラシ、残クレ、自社コールセンターによる新車の提案強化
			オールラインナップに合わせた販売の強化
		輸入車	用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
			ブランドディーラーに相応しいショールーム創り
	中古車部門	用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善	
		保険・ローン等の販売強化	
		チラシ・ネットによる新規来店誘引	
	サービス部門	既存ユーザーに対する提案強化	
在庫回転率の強化			
コールセンター等を活用した車検・法定12か月点検等の入庫促進			
自動車リサイクル事業	リコール対象車の回収促進		
	アフターパーツへの取組強化		
	使用済自動車の安定的確保		
自動車リサイクル事業			リユースパーツ販売の強化

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的にはM & Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行うP O I N T ⑤を**ドミナント展開**



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール（三重県鈴鹿市）が2014年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている、**路上積み下ろしを解消**

【今後の活用方法】

- ・P Bカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- ・グループ新車・中古車デポックスセンター



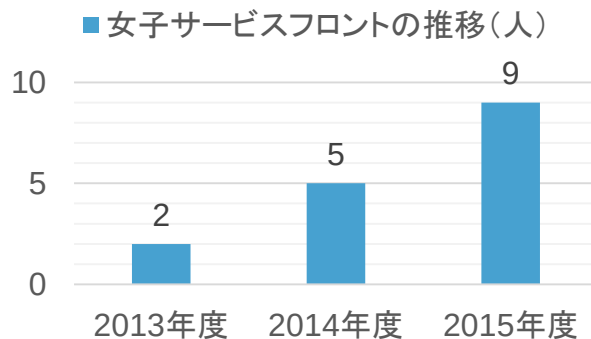
約20,000坪の敷地面積

今後の戦略③ ICDAグループの女子力活用

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力**を活用
- **女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定



掲載日 中日新聞朝刊 平成26年(2014年)7月2日11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- 2015年3月に、三重県亀山市の大型団地近隣に新店舗用地を取得
- 約11,000坪の広大な敷地に、新しいモール形式の**ライフ・ミックス・オートモール**（自動車販売＆集客の街）を設計中
- 自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設として来期オープン予定



【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2016年3月期 配当金予想

	配当性向（連結）	1株当たり配当金
2014.3期	18.3%	50円
2015.3期	36.4%	50円
2016.3期（予想）	21.2%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

参考資料

社名 ICDAホールディングス株式会社

設立 2009年10月1日

本社 三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者 代表取締役社長 向井弘光

資本金 1,161百万円

発行済株式総数 2,099,936株（自己株式64株を除く）

事業内容 自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

売上高 24,522百万円（連結）
（2015年3月期）

経常利益 535百万円（連結）
（2015年3月期）

従業員数 358名（連結）
（2015年3月期）

1967年
■ 三重県鈴鹿市に
向井自動車商会を創業

1969年
■ ホンダ車の販売を開始

1998年
■ 輸入車ディーラーを開始
■ 自動車の街
「鈴鹿オートモール」を開設

2004年
■ オートリサイクルセンター
設立に参加

Audi 2009年
■ 持株会社ICDA
ホールディングス(株)を設立

2013年
JASDAQ上場
名証二部上場
2014年
東証二部市場変更



三重県のマーケット

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	7.7	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	16.8	10	四日市市・三重郡
鈴鹿	10.8	9	鈴鹿市・亀山市
津	15.4	4	津市
松阪	9.1	—	松阪市・多気郡
伊勢	7.0	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	5.1	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.0	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	1.0	—	熊野市・南牟婁郡
合計	73.9	27	

出店済エリア

未出店エリア

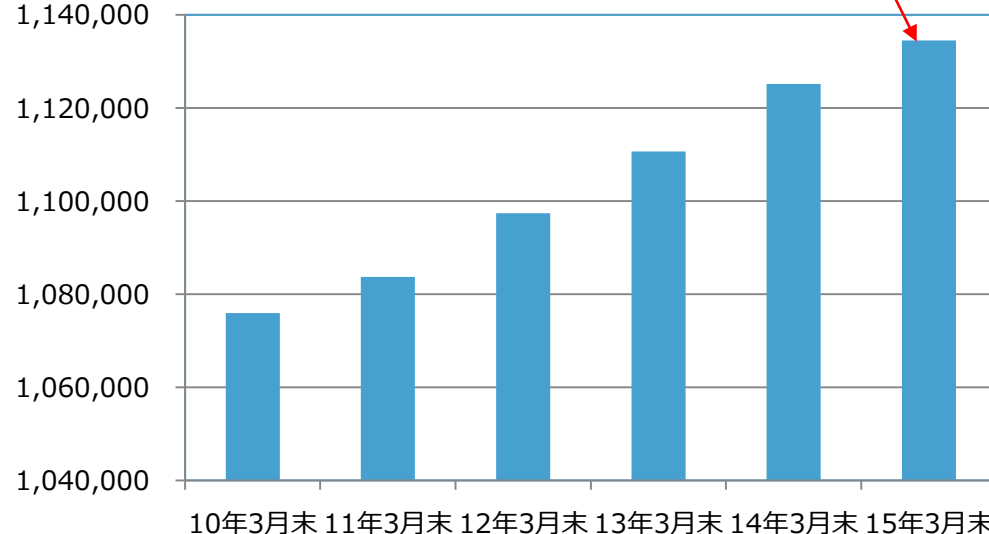
出所：三重県公式HP 2014年10月1日時点、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車（※）の普及台数及び保有台数（2015年3月末）

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.295	26位	4,054,840	1位
岐阜	1.604	7位	1,279,850	17位
三重	1.467	14位	1,134,517	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会 資料より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移（単位：台）



出所：（社）日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

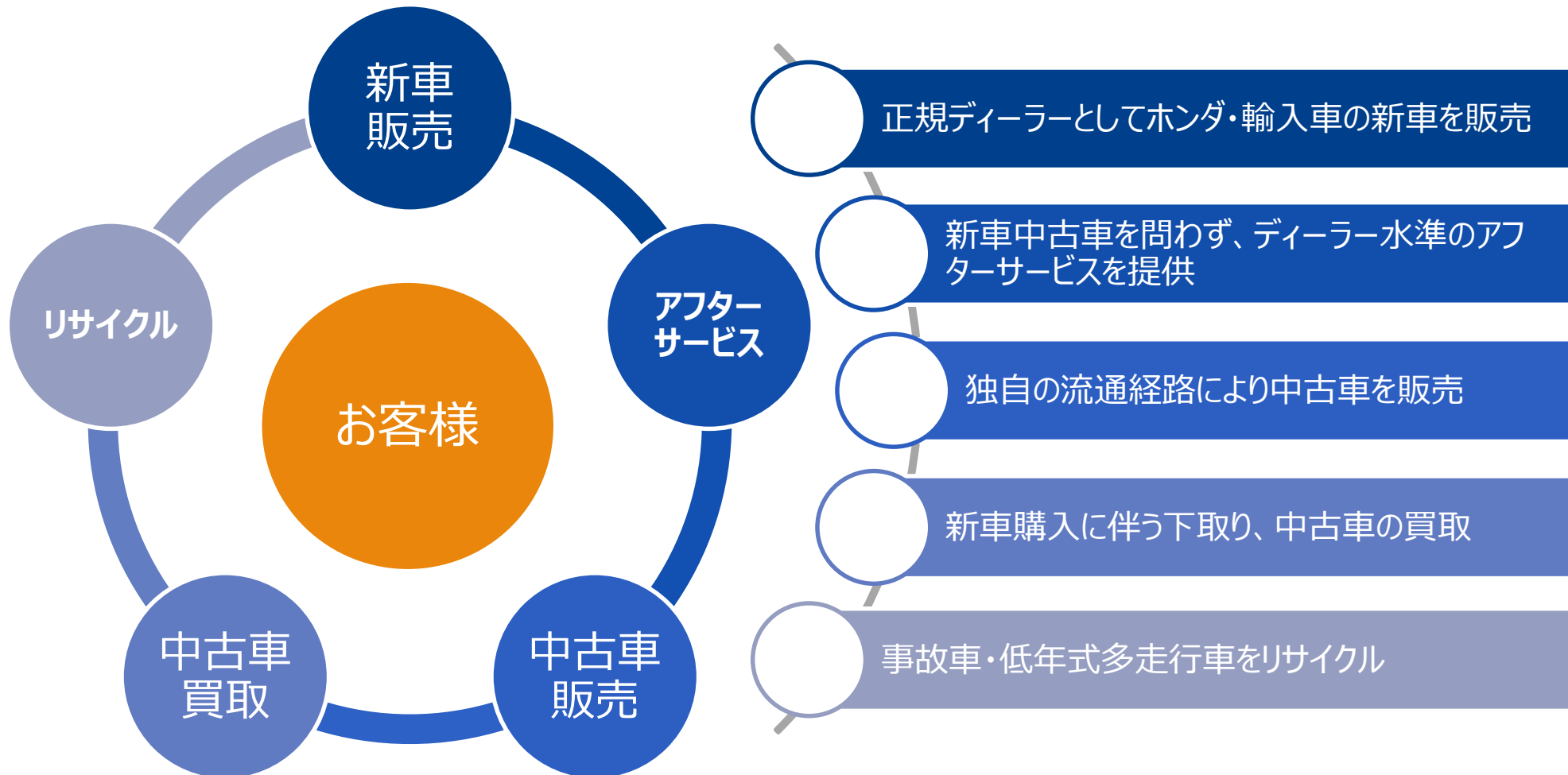
（※）自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層の獲得が可能

★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	中
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	
			低

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

②独自の中古車流通

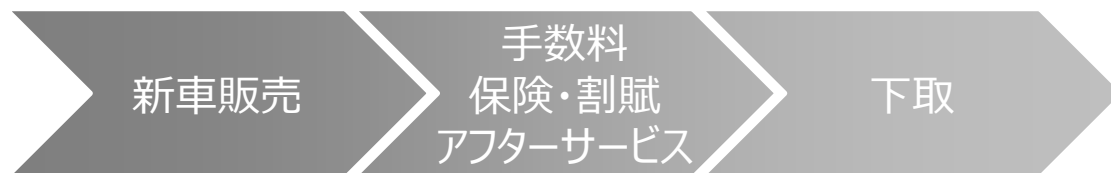
③リユースパーツの活用

④店舗開発ノウハウ

①-1 収益機会の増加

- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネスと、I C D Aのバリューチェーンクロス・ミックスビジネスの比較

新車ディーラーにおける
一般的なバリューチェーンビジネス

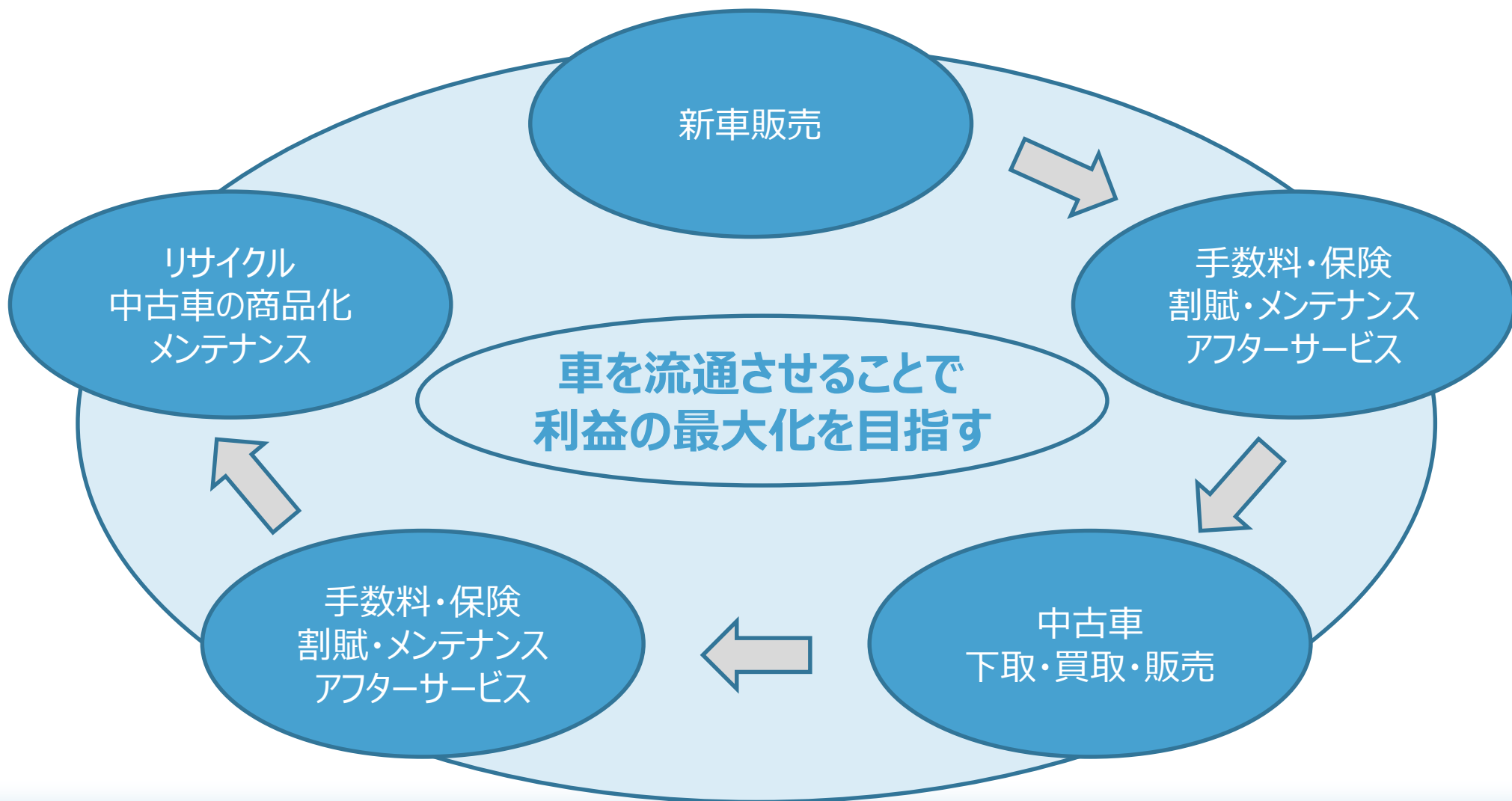


ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



①-2 収益機会の増加

- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の**収益機会が増加**



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

ICDAホールディングス

- 車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、車を売りやすい仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ) 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした複合型
- 幅広いターゲットに対応

(Ⅱ) 小規模併設店舗

- POINT⑤と組合せた出店
- 低コストのオペレーション

(Ⅲ) 隣接型店舗

- 商業施設との共同開発
- ファミリー層に対応

自動車リサイクルの工程について



①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエーター液の回収



⑤⑥反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



⑩300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

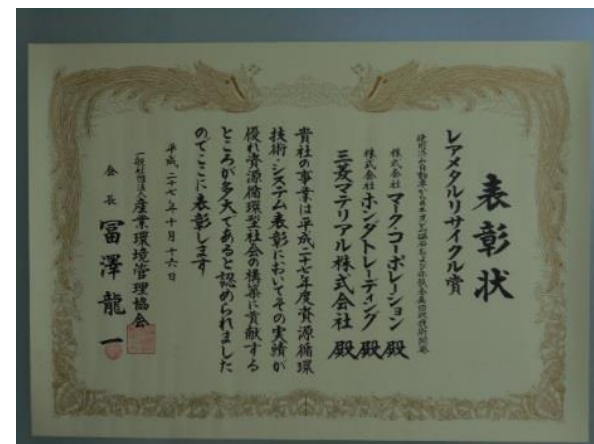
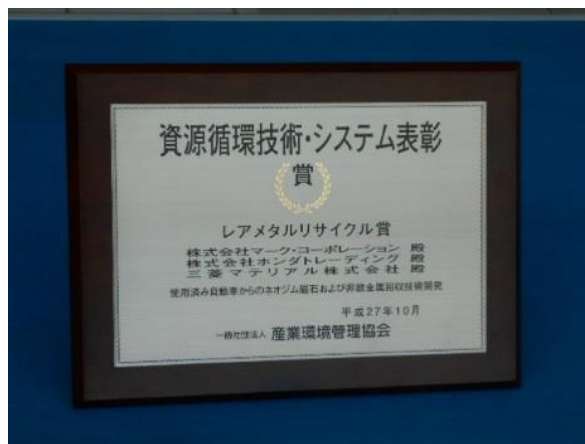
- 鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

- 当社グループの(株)マーク・コーポレーションの次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「資源循環技術・システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞しました。
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と(株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」が評価され、この度の受賞となりました。



鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。というもので、今年初の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しむ。

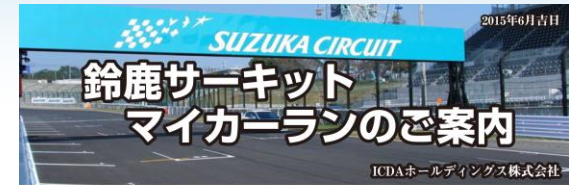
サーキット走行を楽しむ

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年同様、2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しむ。

愛知県から参加した投資家（男性40代）は、「この企画は今回初めて知り参加した。特に自動車車種やモーターススポーツに関心がある訳ではないが、せっかくのチャンスだと思い参加した。学生の頃ドライバーズを習ったが、そのコースを自分で運転できるとは想像すらしたことなかった。今回は素晴らしい体験ができ、一生の思い出になるだろう」と感想を語った。

また、主催者であるICDAホールディングスでは、「グループ全体で株主をおもてなしする日。参加希望者も増えた。我々もスタッフとして動き、株主とともに楽しむ日として今後も続けていく」（同井弘光社長）としている。

同ホールディングスは、2013年6月にJASDAQに上場、その後11月に名証2部、そして昨年6月には東証1部に市場変更している。今回の企画は、上場後の株主優待の一環として行っているもので、来年も株主総会同日の開催を予定している。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車同付マイカーランを実施させていただきます。
当社グループ取扱車種もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。
数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。
是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2015年6月25日（木）

【スケジュール】

受付時間 13:30 センターハウス2F

フリーティング 14:00 センターハウス2F / 走行に関する事前説明会

走行時間 14:30～15:30

【集合場所】 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース センターハウス

【会費】 無料

【申込方法】

本用紙の裏面に記載の注意事項、契約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡用紙を弊社よりご連絡致します。

【お申し込み先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2981

【お申込期限】 2015年6月22日（月）18:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当:川畑・石谷
TEL:059-378-1300(平日/9:00～17:00)



掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日

日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>